

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2 単位	学年	3 年	コース	アカデミー
使用教科書		大修館書店『新編 論理国語』		使用副教材等		尚文出版『常用漢字 ダブルクリア』			

目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、以下の育成を目指す。①実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。②論理的・批判的・創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で自分の考えを深めながら、伝え合う力を高める。③生涯にわたって読書に親しみ、言語を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通じて他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	・定期考査[60%] ・課題テスト[20%] ・成果物(言語活動等)[20%]	・定期考査[60%] ・成果物(言語活動・調べたり考えたりしたことまとめ等)[40%]	・振り返りシート[60%] ・自主学ノート等の取り組み(意味調べやテスト勉強等)[40%]

担当者からのメッセージ	この科目は、2年生の『論理国語』で学習した論理の力を、実生活や社会、進路活動の中で活用する力を身に付けるための科目です。様々な文章を通して、主題をつかむ読み方や説得力のある文章のまとめ方をさらに深く学びながら、批判的に読んだり比べ読みをしたりすることで、自分自身や社会の課題についてより深く考えていきます。様々な考え方を知り、豊かな思考や表現ができることを目指し、根気強く取り組みましょう。
-------------	---

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4・5	・『探究する力』 ・『補助線を引ながら考える』 《フォーカス》自分を客観的に見つめよう ↓ <u>自分自身を客観的に見つめ、課題を探究する力を身に付ける。</u>	【知識・技能】 学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」を通して、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 筆者の主張を読み取り、自分自身を客観的に見つめながら、将来について考えを深めようとしている。
	6	・『ミロのヴィーナス』 《フォーカス》根拠を吟味しよう ↓ <u>主張と根拠の関係に注目し、思考を深める。</u>	【知識・技能】 学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。また、主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性を吟味して内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章をよく読み、根拠を深く吟味することで、主張の正しさと説得力を批判的に検討しようとしている。
	7	・志願先への提出書類 ・志願理由書を書こう ・自己推薦書を書こう ↓ <u>社会と自分をつなぐための書く力・表現力を身に付ける。</u>	【知識・技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にするはたらきがあることを理解している。また、文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、様々な観点から情報を収集、整理して、目的に応じた適切な題材を決めることができる。また、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味し、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の課題を捉え直している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の考えや思いをよりわかりやすく他者へ伝えることができるよう、試行錯誤を繰り返しながらよく吟味して表現しようとしている。
2	9・10	・『人類の進化から考える「心」の誕生』 ・『ロボットにも心はあるか』 ・『クオリアと心』 《フォーカス》複数の文章を比較し、分析しよう ↓ <u>複数の文章を比べながら読むことを通して、思考を深める。</u>	【知識・技能】 推論の仕方について理解を深め使うことができる。また、新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について考えを深めている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、関連する文章を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容を解釈している。また、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 複数の文章を比較・分析することを通して、積極的に自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。
		・問いを立てて書こうーテーマ型小論文 ↓ <u>抽象的なテーマから問いを立て、自分の意見を書く力を身に付ける。</u>	【知識・技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。また、文章の種類に基づく効果的な段階の構成や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。また、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 抽象的なテーマや課題文の主旨をよく吟味し、自分の意見や考えがより明確に伝わる文章となるよう試行錯誤している。
	11	・『政治の本質』 《フォーカス》話し合って考えを深めよう ↓ <u>社会について様々な視点からとらえ直し、自分の考えや解釈を深める。</u>	【知識・技能】 論証するために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 一つのテーマについて、自分の考えを深めたり、他者の考えを理解したりするために、多様な視点からとらえ直そうとしている。
3	12・1	・『未来の地図帳』 ・『豊かさとはなにか』 《フォーカス》身近な課題に取り組み、社会に提言しよう ↓ <u>日本社会や世界が抱える課題を知り、考えを広げたり深めたりする。</u>	【知識・技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。また、情報を重要度や抽象度などによって階層化として整理する方法について理解を深め使うことができる。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、人類、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。また、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関連付けて自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近なテーマから課題を設定し、情報を整理して、説得力のある提言となるよう試行錯誤するなど、粘り強く取り組もうとしている。